

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	07 生きがい感を高める	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	1 就労機会を確保する	【項】	多様な生きがい感のある環境づくり
【基本事務事業】	701 生きがい就労を支援する	【基本計画区分】	201【担当課】 4821000 高齢者福祉課

【目的】 高齢者や障害者が社会の担い手として、いきいきと活躍できるように支援し、就労機会を確保する。	【背景】 高齢社会の到来により、保健・医療・福祉サービスの連携が必要であるが、高齢者や障害者を含む全ての市民の学習・文化・スポーツ活動に対する関心が高まっており、生きがいをもって社会活動に参加できる仕組みがますます必要となっている。	【今後の課題】 ・就労意欲を向上させるための施策の充実と多様な就労形態の確保 ・シニア交流センターの設置による、就労支援の充実・精神障害者共同作業所・知的障害者福祉作業所の支援(実施計画事業)	【重要性】 高齢者や障害者が、地域社会の一員として、住み慣れた地域や家庭で自立した生活を送り、いつまでも心のほりを持ちつづけるためには、生涯にわたり、その意欲や能力に応じて就労できることが重要である。	【現状分析】 ・シニア交流センターへの交通アクセスが不便。・立地条件から、活発なセンター利用を促進する必要がある。・センターの独自事業の展開及び関係団体による事業の展開。公民館との協賛講座の展開と高齢者向き講座を実施。シルバー人材センターによる再生自転車の販売、パソコン教室、英会話教室等。老人クラブ連合を中心としての活動。・障害者の就労支援策の充実	コード 配下事務事業名 70101 シルバー人材センター関係事業 70102 (仮称)シニア交流センター整備事業 70103 (仮称)シニア交流センター管理運営事業 70104 生きがい福祉事業関係事業 70105 障害者就労支援事業 70106 障害者訓練等給付費支援事業	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 事業拡大 シニア交流センターの活用をはかり退職後の地域に戻った市民の生きがい感の向上に努めていく。内容の充実をどのように図っていくかが重要。障害者の就労については、3障害に対する取組や庁内関係課との連携など新たな就労支援システムづくりを検討中。
	【指標】 上段:予算目標 下段:実績					
		シルバー人材センターの就業率 (%)	70.7 71 71.5 72 72.5	70.74 82.76 84.9 80.5 84.7		
		福祉作業所通所者率 (%)	70 75 80 85 90	55.2 65.6 69.6 71 69		

【政策】	07 生きがい感を高める	【施策】	1 就労機会を確保する
【基本事務事業】	701 生きがい就労を支援する	担当課:	4821000
【事務事業】	70101 シルバー人材センター関係事業	高齢者福祉課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 201 戦略区分 -
【目的】 自らの生きがいの充実や社会参加を希望する高齢者に対して、地域社会に密着した臨時的かつ短期的な仕事を提供する松戸市シルバー人材センターの運営費の一部を補助することにより、高齢者の就労機会の増大と福祉の増進を図る。	【指標】 就業率(%)	【指標概要】 就業実人員÷会員数	[H15] [H16] [H17] [H18] [H19] 【事業費】 [H15] [H16] [H17] [H18] [H19]
	()	()	70.74 71 71.5 72 72.5 計画額 38,897 43,049 40,033 43,924 44,332
	()	()	70.74 82.76 84.9 80.46 84.65 (一般財源) 37,913 43,049 40,033 43,924 44,332
	()	()	0 0 0 0 0 予算額 38,897 43,049 41,245 44,010 34,685
	()	()	0 0 0 0 0 (一般財源) 37,913 43,049 41,245 44,010 34,685
	()	()	0 0 0 0 0 決算額 39,096 42,849 37,888 40,886 33,907
	()	()	0 0 0 0 0 職員数 0.6 0.6 0.6 0.35 0.35
【対象】 市内に居住するおおむね60歳以上の健康で働く意欲を持つ方			単位) 事業費:千円 職員数:人 【業務】 シルバー人材センター運営費補助金等
			【指標値】 上段:予算目標 下段:実績
【定量分析】:課題・現状分析 市の各施設へリフレットを配布及びホームページの開設等により、認知度及び就業機会の拡大に努めた。独自事業として再生自転車・英語教室・パソコン教室等を実施。			【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性 高齢者の就労機会の拡大を目指し、シニア交流センター利用の促進と独自事業の展開や関係団体事業の推進を図る。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	07	生きがい感を高める	【施策】	1	就労機会を確保する								
【基本事務事業】	701	生きがい就労を支援する	担当課:	4821000									
【事務事業】	70102	(仮称)シニア交流センター整備事業	高齢者福祉課	会計区分	一般会計								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
元気高齢者の交流機会および各種情報の提供	建設状況(%)	建設実施分/建設計画	0	0	100	0	0	計画額	73,944	4,000	100,000	0	0
			0	0	90	10	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
()	()	()	0	0	0	0	0	予算額	73,944	4,000	110,000	6,000	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	6,000	0
()	()	()	0	0	0	0	0	決算額	0	0	104,334	4,623	0
			0	0	0	0	0	職員数	0.75	0.35	0.45	0.1	0
【対象】			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					【業務】 建物改修費 設計委託料 建物購入費 初度備品購入費 開設準備業務					
市民(通勤者を含む)								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
【定量分析】: 課題・現状分析			【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性										
H18年4月からシニア交流センターに移転するシルバー人材センターの作業場所を確保するため、プレハブによる作業所を設置する。			シニア交流センターを拠点とした高齢者への就労対策の推進。										

【計画事業】

【計画事業名】シニア交流センター設置事業

【節項コード】 201 【節名】豊かな人生を支える福祉社会の実現
【項名】多様な生きがい感のある環境づくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	十五年度は懇話会を設置し、基本設計等を策定	実施設計委託	上半期に施設購入下半期に施設改修工事	4月開設予定	
実績	懇話会7回開催し、提言書を提出		6月議会で購入承認を得て、8月に契約を締結する予定4月に実施設計作成、8月・9月で改修工事の契約締結予定	H18年4月からシニア交流センター内にシルバー人材センター及び高齢者職業相談室を併設。新たに作業スペースを確保するため、プレハブの作業所を設置。	

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	07	生きがい感を高める	【施策】	1	就労機会を確保する								
【基本事務事業】	701	生きがい就労を支援する	担当課:	4833000									
【事務事業】	70105	障害者就労支援事業	障害福祉課	会計区分	一般会計								
				計画区分	計画事業								
				201	戦略区分								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
知的障害者小規模作業所・精神障害者共同作業所等の運営を支援する。	福祉的就労希望者(人)	障害者一般就労が困難であっても就労意欲を持つ障害者に対し就労訓練をすることにより勤労意欲が引き出され障害者の自立の向上に貢献できる	20	21	21	21	22	計画額	141,421	172,017	191,131	206,596	157,004
			20	40	42	24	27	(一般財源)	75,421	88,759	92,123	103,526	84,074
								予算額	141,421	172,017	191,396	205,649	157,004
施設数()			0	0	0	0	0	(一般財源)	75,421	88,759	95,326	104,837	0
			0	0	0	0	0	0	決算額	141,685	171,859	189,403	196,951
施設の定員()			0	0	0	0	0	職員数	0.7	0.7	0.85	0.85	0.35
			0	0	0	0	0	0	【業務】	精神障害者共同作業所運営費補助金 精神障害者小規模通所授産施設運営 身体障害者福祉作業所運営費補助金 知的障害者福祉作業所運営費補助金 身体障害者小規模通所授産施設運営			
【対象】	知的障害者小規模作業所・精神障害者共同作業所を運営する事業者		【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績										
【定量分析】: 課題・現状分析			3障害それぞれの福祉的就労・社会参加の場としての小規模作業所等を現時点では量的に確保できた。					【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 概ねの施設が障害者自立支援法の地域活動センターへの移行が見込まれるが、何らかの理由で移行できない施設についての支援を検討していく。					

【計画事業】

【計画事業名】 精神障害者共同作業所支援事業及び知的障害者福祉作業所支援事業

【節項コード】 201 【節名】 豊かな人生を支える福祉社会の実現

【項名】 多様な生きがい感のある環境づくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	精神協同作業所1ヶ所知的福祉作業所1ヶ所	新規)精神協同作業所3ヶ所知的福祉作業所1ヶ所既設)精神共同作業所3ヶ所身体福祉作業所1ヶ所 身体小規模作業所2ヶ所 知的福祉作業所9ヶ所	新規)知的福祉作業所2ヶ所・市外3ヶ所既設)精神共同作業所6ヶ所 身体福祉作業所1ヶ所身体小規模作業所2ヶ所 知的福祉作業所10ヶ所・市外3ヶ所	新規)知的福祉作業所2ヶ所既設) 精神共同作業所6ヶ所身体福祉作業所1ヶ所身体小規模作業所2ヶ所 知的福祉作業所12ヶ所・市外3ヶ所	新規)精神協同作業所1ヶ所既設(予定)精神共同作業所6ヶ所身体福祉作業所1ヶ所身体小規模作業所2ヶ所 知的福祉作業所14ヶ所・市外3ヶ所
実績	新規)精神共同作業所1ヶ所知的作業所1ヶ所既設)精神共同作業所2ヶ所身体福祉作業所1ヶ所身体小規模作業所2ヶ所知的福祉作業所8ヶ所	新規)精神共同作業所3ヶ所知的共同作業所1ヶ所既設)精神共同作業所3ヶ所身体福祉作業所1ヶ所 身体小規模作業所2ヶ所 知的福祉作業所9ヶ所	新規)知的共同作業所2ヶ所既設) 精神共同作業所6ヶ所身体福祉作業所1ヶ所身体小規模作業所2ヶ所 知的福祉作業所10ヶ所	新規)知的小規模福祉作業所3ヶ所 既設)精神共同作業所7ヶ所身体小規模作業所1ヶ所 知的小規模福祉作業所9ヶ所	既設)精神共同作業所7ヶ所身体小規模作業所1ヶ所 知的小規模福祉作業所11ヶ所

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	07	生きがい感を高める	【施策】	1	就労機会を確保する
【基本事務事業】	701	生きがい就労を支援する	担当課:	4833000	
【事務事業】	70106	障害者訓練等給付費支援事業	障害福祉課		
			会計区分	一般会計	計画区分 一般事業 204 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
障害者が地域での就労及び生活が送れるように訓練等の支援をする。	訓練等給付サービス対象者数(人)	障害者が地域で生活及び就労する為の訓練を利用者に提供するため。	0	0	0	404	1375	計画額	0	0	0	31,931	76,579	
			0	0	0	404	1375	(一般財源)	0	0	0	12,793	19,151	
									予算額	0	0	0	0	76,579
									(一般財源)	0	0	0	0	19,151
									決算額	0	0	0	30,931	64,781
	(0)		0	0	0	0	職員数	0	0	0	0	1.21		
							単位) 事業費：千円 職員数：人							
【対象】 障害者(身体障害者・知的障害者・精神障害者)	(0)		0	0	0	0	0	【業務】	障害者自立訓練給付費 障害者就労移行支援給付費 障害者就労継続支援給付費 障害者共同生活援助給付費					
			0	0	0	0	0							

【指標値】上段：予算目標 下段：実績

【定量分析】：課題・現状分析

身体障害者施設の新体系への移行が早く実施されており、知的障害者施設の移行が20年度より加速される見込み。

【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性

円滑な移行を支援する。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	07 生きがい感を高める	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	2 社会参加を推進する	【項】	多様な生きがい感のある環境づくり
【基本事務事業】	702 ボランティア活動を支援する	【基本計画区分】	201【担当課】 4811000 健康福祉本部企画管理室

【目的】 高齢者や障害者等が生涯学習活動、スポーツ、レクリエーション活動に参加する機会を確保する。また、ボランティア活動に気楽に参加できる環境づくりやボランティア活動希望者への情報提供を推進する。	【背景】 複雑多様化する社会を背景として、様々な市民のニーズに対する社会の仕組みや諸制度が、機能を十分に発揮することができず、そのニーズに応じることができない状況にある。こうした状況の中で、ボランティアは地域の問題として捉え、自主的に活動を行っているが、活動拠点や活動資金といった面では厳しい状況だと思われ、支援が必要となっている。	コード 配下事務事業名 70201 福祉ボランティア人材育成事業 70202 民生委員・児童委員関係事業 70203 福祉団体援護事業 70204 家庭福祉推進員関係事業 70205 福祉有償運送事業	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持 高齢者や障害者等が生涯学習活動、スポーツ、レクリエーション活動に参加する機会を確保する。また、ボランティア活動に気楽に参加できる環境づくりやボランティア活動希望者への情報提供を推進する。
	【今後の課題】 社会参加のための情報収集と提供		

【重要性】 すべての市民が住み慣れた地域や家庭で安定した生活ができるためには、地域住民の理解と協力が必要となる。そのため、地域のボランティアの育成や、各種団体、社会福祉法人などへの積極的な支援、ボランティア活動の基盤整備が重要である。	【現状分析】 ボランティア養成講座の受講人数は増加しているが、ボランティア保険加入者は、横ばい傾向にある。	【指標】 上段:予算目標 下段:実績 ボランティア保険加入者数 (人)	[H15] [H16] [H17] [H18] [H19] 7500 8000 8500 9000 10000 7939 7755 7654 7373 7518 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
--	--	---	--

【政策】	07 生きがい感を高める	【施策】	2 社会参加を推進する
【基本事務事業】	702 ボランティア活動を支援する	担当課:	4811000
【事務事業】	70201 福祉ボランティア人材育成事業	健康福祉本部企画管理室	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 201 戦略区分 -
【目的】 市民の福祉に対する理解と関心を深めるとともに、地域福祉を支えるボランティアの発掘及び育成を行い、活動の促進を図るため、福祉の拠点としてボランティアセンターを運営する、松戸市社会福祉協議会の運営費の一部を補助する。	【指標】 ボランティア養成研修申込者数(人)	【指標概要】 松戸市社会福祉協議会主催による養成研修申込者数	[H15] [H16] [H17] [H18] [H19] 【事業費】 [H15] [H16] [H17] [H18] [H19] 180 185 190 195 200 計画額 0 0 0 0 0 162 128 166 256 428 (一般財源) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 予算額 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 (一般財源) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 決算額 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 職員数 0.05 0.05 0.05 0.1 0.1 単位) 事業費:千円 職員数:人
【対象】 ボランティア活動に興味のある人			【業務】 ボランティアの発掘、育成を行う活動しやすい環境をつくる
			【指標値】上段:予算目標 下段:実績
	【定量分析】:課題・現状分析 ボランティア養成講座への参加者が増加することで、ボランティア人口が確実に増加している。		【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性 市民の福祉に対する理解と関心を深めるとともに、地域福祉を支えるボランティアの発掘及び育成を今後も推進する。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	07	生きがい感を高める	【施策】	2	社会参加を推進する								
【基本事務事業】	702	ボランティア活動を支援する	担当課:	4824100									
【事務事業】	70202	民生委員・児童委員関係事業	福祉事務所・援護担当室	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
				201	戦略区分								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
民生委員・児童委員が相談・支援者として役割を果たすべき活動ができるように支援する。	相談件数(人)	相談件数	20600	20700	20800	20900	21000	計画額	39,232	39,232	37,288	37,288	37,276
			20634	19139	18514	18995	18238	(一般財源)	36,554	36,554	35,409	35,409	35,558
								予算額	39,232	39,232	37,288	37,276	38,289
								(一般財源)	36,554	36,554	35,409	35,558	36,659
()			0	0	0	0	0	決算額	36,447	36,231	36,016	35,972	36,470
			0	0	0	0	0	職員数	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
								単位) 事業費：千円 職員数：人					
()			0	0	0	0	0	【業務】	民生委員推薦会委員報酬 10人 民生児童委員活動業務				
			0	0	0	0	0						
【対象】	ひとり暮らし老人・高齢夫婦世帯・生活保護世帯等の相談及び支援をする。		【指標値】 上段：予算目標 下段：実績					【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性 民生委員児童委員活動の枠内で、市民のニーズに応えられる民生委員児童委員になれるような体制づくりを継続して行っていくこと。					
【定量分析】：課題・現状分析		民生委員児童委員の職務を行う上に必要な知識及び相談技術の取得に必要な研修会を実施した。											

【政策】	07	生きがい感を高める	【施策】	2	社会参加を推進する								
【基本事務事業】	702	ボランティア活動を支援する	担当課:	4811000									
【事務事業】	70203	福祉団体援護事業	健康福祉本部企画管理室	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
				201	戦略区分								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
福祉活動団体に助成金を交付し、会員相互の親睦と自立更生を図り、地域福祉活動の向上を図る。	助成団体数(団体数)	福祉活動団体に助成金を交付し、地域福祉活動の向上を図る。援護担当室(6団体)、在宅介護支援センター(1団体)、児童福祉課(1団体)、健康福祉会館(16団体)	24	24	24	24	24	計画額	5,505	5,505	5,255	5,180	5,180
			24	24	24	0	0	(一般財源)	5,505	5,505	5,255	5,180	5,180
								予算額	5,505	5,505	5,255	5,180	0
								(一般財源)	5,505	5,505	5,255	5,180	0
()			0	0	0	0	0	決算額	5,475	5,180	5,180	5,050	0
			0	0	0	0	0	職員数	0.25	0.25	0.25	0.1	0.1
								単位) 事業費：千円 職員数：人					
()			0	0	0	0	0	【業務】	社会福祉協議会事業委託業務				
			0	0	0	0	0						
【対象】	市内福祉活動団体		【指標値】 上段：予算目標 下段：実績					【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
【定量分析】：課題・現状分析													

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	07	生きがい感を高める	【施策】	2	社会参加を推進する									
【基本事務事業】	702	ボランティア活動を支援する	担当課:	4831000										
【事務事業】	70204	家庭福祉推進員関係事業	児童福祉課	会計区分	一般会計									
				計画区分	一般事業									
				201	戦略区分 ー									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
1グループ化をして定期的集まることにより、情報交換による不安感の解消や、就業につながる支援をし、自立を促す。2啓発活動により家庭内暴力の減少を図るとともに、暴力の発見の際は通報により関係機関の早期対応につなげる。3世帯に対して生活の支援を行うことにより、暴力・虐待を防ぐ。	自助グループ参加者数(人)	自助グループ参加者数	141	153	100	200	300	計画額	6,495	5,044	3,388	3,320	3,212	
			141	153	99	448	409	(一般財源)	5,127	4,144	3,388	3,320	1,286	
									予算額	6,495	5,044	3,388	3,124	3,212
									(一般財源)	5,127	4,144	961	1,198	1,286
									決算額	5,859	4,627	2,416	2,254	3,121
	(0)		0	0	0	0	職員数	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1		
							単位) 事業費：千円 職員数：人							
	(0)		0	0	0	0	【業務】							
			0	0	0	0								
【対象】	1ひとり親家庭の親2家庭内暴力の世帯3ハイリスク世帯													
	【指標値】 上段：予算目標 下段：実績													
	【定量分析】：課題・現状分析						【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
	定期的に集まることにより、情報交換による不安感の解消や、就業につながる支援をし、自立を促す事を目的とし、実施した。													
	(平成17年～平成19年)131回 956人													
	当初目標は達成したが、社会環境・行政環境の変化やひとり親家庭の意識の変化により設置目的を効果的・効率的に達成することが困難になってきたため、平成20年3月31日をもって制度を廃止した。													

【政策】	07	生きがい感を高める	【施策】	2	社会参加を推進する									
【基本事務事業】	702	ボランティア活動を支援する	担当課:	4811000										
【事務事業】	70205	福祉有償運送事業	健康福祉本部企画管理室	会計区分	一般会計									
				計画区分	一般事業									
				0	戦略区分 成長									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
NPO等の非営利法人が、ボランティア活動として自家用自動車により障害者や要介護者等を有償で運送している。この運送について市が運営協議会と称する協議機関を設置し、その合意が整った場合には運輸支局にて自家用自動車に対し道路運送法にもとづく登録を行う制度。	NPO団体数(団体)	福祉有償運送事業の事業登録を与えられたNPOの団体数	0	0	1	1	1	計画額	0	0	276	276	276	
			0	0	0	5	1	(一般財源)	0	0	276	276	276	
									予算額	0	0	0	182	174
									(一般財源)	0	0	0	182	174
									決算額	0	0	0	69	35
	(0)		0	0	0	0	職員数	0	0	0.5	0.5	0.5		
							単位) 事業費：千円 職員数：人							
	(0)		0	0	0	0	【業務】							
			0	0	0	0								
【対象】	障害者や要介護者													
	【指標値】 上段：予算目標 下段：実績													
	【定量分析】：課題・現状分析						【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
	平成18年度に新規市内3団体・市外2団体を協議、平成19年度には新規市内1団体の協議をおこない、いずれも合意にいたった。													
	道路運送法が改正されたばかりであるので、各団体にて情報の共有がはかれるよう、積極的に情報等を提供する													

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	07 生きがい感を高める	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	2 社会参加を推進する	【項】	多様な生きがい感のある環境づくり
【基本事務事業】	703 生涯学習活動を支援する	【基本計画区分】	201【担当課】 4821000 高齢者福祉課

【目的】 高齢者や障害者等が生涯学習活動、スポーツ、レクリエーション活動に参加する機会を確保する。また、ボランティア活動に気楽に参加できる環境づくりやボランティア活動希望者への情報提供を推進する。	【背景】 老人クラブは単に交流するだけの団体ではなく、地域の社会奉仕活動や福祉関係のボランティア活動など地域の担い手の一つとしての位置づけもあり、大変重要である。しかし、現在の活動は、旧来からのいわゆる「老人会」というイメージがあることから、入会者数が減少傾向にある。	コード 70301 老人クラブ育成指導事業	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持 老人クラブ活動の新たな展開について、助言及び支援していく必要がある。
---	---	--------------------------	--

【今後の課題】
老人クラブ活動の新たな展開について、助言及び支援していく必要がある。

【重要性】
高齢者の生きがい活動の中で、生涯学習活動は大変重要である。

【現状分析】 団体として活動を積極的に取組んでいる老人クラブについて引き続き育成に努め、新たな老人クラブ活動の展開を支援する。	【指標】 上段: 予算目標 下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
	加入率	13	13	13	13	13
	(%)	10.8	10.4	10.1	9.8	8.9
		0	0	0	0	0
	()	0	0	0	0	0

【政策】	07 生きがい感を高める	【施策】	2 社会参加を推進する
【基本事務事業】	703 生涯学習活動を支援する	担当課:	4821000
【事務事業】	70301 老人クラブ育成指導事業	高齢者福祉課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 201 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
生涯学習を通じて、高齢者の社会参加を推進する。	クラブ加入率(%)	老人クラブ加入者数/60歳以上人口	12	12	13	13	13	計画額	50,882	42,700	42,700	41,076	40,813
			10.8	10.4	10.1	9.8	8.9	(一般財源)	43,355	37,431	37,431	41,076	35,544
()			0	0	0	0	0	予算額	50,882	42,700	41,076	41,686	46,491
			0	0	0	0	0	(一般財源)	43,355	37,431	35,807	36,417	41,222
()			0	0	0	0	0	決算額	49,588	41,907	40,812	40,823	40,415
			0	0	0	0	0	職員数	1.1	1.1	1.03	1.03	1.03
【対象】 市民(60歳以上)			0	0	0	0	0	【業務】	老人クラブ運営費補助金 老人クラブ連合会補助金 高齢者体力づくり健康づくり補助金 老人クラブ関係業務 老人研修バス業務				
			0	0	0	0	0	【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					

【定量分析】: 課題・現状分析
単位クラブの事業内容を精査し、生きがいをもって社会参加ができるような事業になるように指導を行い、本来の目的を達成できるよう図り、魅力ある老人クラブ活動としていきたい。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
組織の活性化を図る施策を検討し、組織率の向上させる必要がある。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	07 生きがい感を高める	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	2 社会参加を推進する	【項】	多様な生きがい感のある環境づくり
【基本事務事業】	704 社会的認知活動を支援する	【基本計画区分】	201【担当課】 4811000 健康福祉本部企画管理室

【目的】 高齢者や障害者等が生涯学習活動、スポーツ、レクリエーション活動に参加する機会を確保する。また、ボランティア活動に気楽に参加できる環境づくりやボランティア活動希望者への情報提供を推進する。	【背景】 (高齢者)国民一人ひとりが高齢者の問題を身近なこととして関心と理解を深め、家庭、地域社会、職場、学校等あらゆる場面で、立場に相応しい取り組みを進めていくことが必要との観点から、「敬老の日・老人保健福祉週間」として、保健・福祉のまちづくり、高齢者の社会参加、ボランティア活動の促進等の運動を展開している。(障害者)国民に広く障害者福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化、その他あらゆる活動に積極的に参加する意欲を高める目的として、障害者週間を設け、その期間を中心に、国、地方公共団体、関係団体等において様々な意識啓蒙にかかる活	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
	【今後の課題】 (高齢者)敬老祝金の見直し(障害者)障害者週間の趣旨にふさわしい事業を実施するように努める。	70401	敬老祝金支給事業	少子・高齢化やライフスタイルの多様化が進む現在、一人ひとりが豊かな人間性を育み生きる力を身に付けていくとともに、皆で子どもや若者を育成・支援し、年齢や障害の有無等にかかわらず安全に安心して暮らせる「共生社会」を実現することが重要である。一人一人の安全と安心は、相互の助け合い・連帯によって支えられ、地域社会への積極的な参加が望まれる。
		70402	障害者福祉関係事業	

【重要性】
(高齢者)多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うことによって、地域や家庭内で役割を持つようになる必要がある。(障害者)障害者基本法の基本理念の一つとして、「社会を構成する一員として社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられる」ことを宣言するとともに、「何人も障害者に対して障害を理由とし差別すること、その他の権利利益侵害する行動もしてはならない」こと

【現状分析】
地域社会の中での日常的な支えあいやNPO・住民参加型相互扶助組織のような「自律的・インフォーマルな相互扶助(共助)の仕組み」への参加者が増加しつつある。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
学習活動の成果を地域社会で生かしている高齢者の割合			0	82.4	0	0	82.4
			0	82.4	0	0	0
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	07 生きがい感を高める	【施策】	2 社会参加を推進する
【基本事務事業】	704 社会的認知活動を支援する	担当課:	4821000
【事務事業】	70401 敬老祝金支給事業	高齢者福祉課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 201 戦略区分 一
【目的】 多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝う。	【指標】 対象人数(人)	【指標概要】 77歳、88歳、99歳、100歳以上	【事業費】
	()		【業務】
【対象】 市内居住の年齢該当者(高齢者)			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析
今後、該当者の増加がかなり見込まれること、併せて財政負担につながることから、総支給額の固定制を採用していくことも視野に入れ、事業を継続していく。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
現在の社会状況を考慮すると、将来的には廃止することも検討の余地有り

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	07	生きがい感を高める	【施策】	2	社会参加を推進する									
【基本事務事業】	704	社会的認知活動を支援する	担当課:	4833000										
【事務事業】	70402	障害者福祉関係事業	障害福祉課											
			会計区分	一般会計	計画区分									
					一般事業									
					201 戦略区分									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
障害や障害者に対する社会的偏見や誤解の解消及び障害者の社会参加を図る	参加者数(人)	市民より多くの市民が参加することにより障害者を知ることにより偏見等が減じ障害者施策に対する理解が深まる	3706	3786	3866	3946	4026	計画額	1,654	1,443	1,531	1,406	820	
			3606	3663	3752	3662	3918	(一般財源)	1,566	1,327	1,443	1,406	820	
	()		0	0	0	0	0	予算額	1,654	1,443	1,406	1,505	820	
			0	0	0	0	0	(一般財源)	1,566	1,327	1,406	1,505	820	
	()		0	0	0	0	0	決算額	1,399	1,344	1,775	1,093	788	
			0	0	0	0	0	職員数	1.51	1.51	1.51	1.51	3.7	
	【対象】 市民	()		0	0	0	0	0	【業務】	障害者週間啓発業務 障害者福祉センターボランティア養成				
				0	0	0	0	0	単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
				【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績										
	【定量分析】: 課題・現状分析								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
障害者週間と連動した障害者と市民のふれあいの場を継続して実施してきたことで、障害者の社会参加及び市民啓発が確実に効果を示してきている。								更なる継続的な実施を要する。						

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	07 生きがい感を高める	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	2 社会参加を推進する	【項】	多様な生きがい感のある環境づくり
【基本事務事業】	705 生きがい交流を支援する	【基本計画区分】	201【担当課】 4821000 高齢者福祉課

【目的】 高齢者や障害者等が生涯学習活動、スポーツ、レクリエーション活動に参加する機会を確保する。また、ボランティア活動に気楽に参加できる環境づくりやボランティア活動希望者への情報提供を推進する。	【背景】 松戸市総合計画前期基本計画に係る市民意識調査(平成18年度)を実施した中で、今後充実すべき施策として、健康生きがい施策や就労支援策の要望が多く、このため元気高齢者の方々に対する就労支援と社会参加の促進を目的とする施策として、シニア交流センターの活用が望まれる。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 事業拡大
		70501	老人福祉センター管理運営事業	・高齢者や障害者等が生涯学習、スポーツ、レクリエーション、ボランティア活動などに気楽に地域で参加できる環境づくり、民間活動が活発になるような支援をしていく。
		70502	中央ゲートボール場関係事業	
		70503	高齢者ふれあい一番風呂支援事業	
		70504	障害者自立支援事業	
		70505	総合福祉会館管理運営事業	
	【今後の課題】 利用者が特定の人に偏らないようにする。シニア交流センターの活用の充実を図る。			

【重要性】
今後は、ますます進展する少子・高齢化に対応し、より一層、市民が学習、文化、スポーツ、レクリエーション活動や地域活動に参加しやすい環境整備を推進する必要がある。

【現状分析】
総合計画前期基本計画に係る市民意識調査(平成18年度)に基づいて事業実績を評価。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
定期的学習活動をする高齢者の割合		(%)	0	45.85	0	0	45.85
			0	45.85	0	0	45.85
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	07 生きがい感を高める	【施策】	2 社会参加を推進する
【基本事務事業】	705 生きがい交流を支援する	担当課:	4821000
【事務事業】	70501 老人福祉センター管理運営事業	高齢者福祉課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 201 戦略区分 -

【目的】 交流の機会を確保することにより、高齢者や障害者の社会参加を推進する	【指標】 利用者数(人)	【指標概要】 利用者数(1日当たり)*開館日数	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
			179000	179000	179000	179000	179000	計画額	61,520	50,875	53,938	57,264	61,425
			179210	181237	181237	189423	187239	(一般財源)	61,520	50,875	53,938	57,264	61,425
								予算額	61,520	50,875	47,407	52,120	39,248
								(一般財源)	61,520	50,875	47,407	52,120	39,248
			0	0	0	0	0	決算額	58,976	48,612	46,868	45,430	37,123
			0	0	0	0	0	職員数	6.95	6.95	8.6	7.05	7.05
								単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
【対象】 市民(市内居住者)			0	0	0	0	0	【業務】	施設提供業務				
			0	0	0	0	0		施設維持管理業務				
									施設整備業務				

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

提供内容として、民間と競合する部分もあることから、サービスの内容を精査し、高齢者等の社会参加がしやすい環境の改善に改善に努めながら、利用者の満足度を高めていきたい。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

今後、実施内容を見直し、サービスの活性化を図ることが課題として残っている。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	07	生きがい感を高める	【施策】	2	社会参加を推進する								
【基本事務事業】	705	生きがい交流を支援する	担当課:	4821000									
【事務事業】	70502	中央ゲートボール場関係事業	高齢者福祉課	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
				201	戦略区分								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
交流の機会を確保することにより、高齢者や障害者の社会参加を推進する。	利用者数(人)	利用者数	8500	8500	8500	8500	8500	計画額	2,361	2,235	2,361	2,346	2,254
			8247	7378	5469	6666	8011	(一般財源)	2,361	2,235	2,361	2,346	2,254
								予算額	2,361	2,235	2,346	2,269	2,744
								(一般財源)	2,361	2,235	2,346	2,269	2,744
								決算額	2,335	2,229	2,254	2,243	2,729
(0)			0	0	0	0	職員数	0.2	0.2	0.27	0.2	0.2	
			0	0	0	0	【業務】						
			0	0	0	0							
【対象】	【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績												
高齢者等	【定量分析】: 課題・現状分析												
	老人クラブ活動とも密接に関連することから、老人クラブ育成事業と絡めた中で、運営管理の方向性を探して行きたい。						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性						
	特定の利用者使用の傾向にあるので、目的を達成するために、仕掛けが必要。												

【政策】	07	生きがい感を高める	【施策】	2	社会参加を推進する								
【基本事務事業】	705	生きがい交流を支援する	担当課:	4821000									
【事務事業】	70503	高齢者ふれあい一番風呂支援事業	高齢者福祉課	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
				201	戦略区分								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
ひとり暮らし高齢者等に地域住民とふれあいの場を提供することで、ひとり暮らし高齢者等の生きがい感を高める。	65歳以上の利用者(人)	年間利用者数	0	0	4830	4830	4830	計画額	0	0	2,000	2,000	2,000
			0	0	26193	27532	22917	(一般財源)	0	0	2,000	2,000	2,000
								予算額	0	0	2,000	2,000	2,000
								(一般財源)	0	0	2,000	2,000	2,000
								決算額	0	0	2,000	2,000	2,000
(0)			0	0	0	0	職員数	0	0	0.06	0.06	0.06	
			0	0	0	0	【業務】						
			0	0	0	0							
【対象】	【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績												
65歳以上の市内居住市民	【定量分析】: 課題・現状分析												
	高齢者の孤独感の解消及び地域住民との交流の場としては、有効性が高いと思慮されることから、今後の利用実績によっては、拡大を図るべきである。						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性						
	入浴回数の増加だけで地域住民との交流が多く得られるか、方向性が見えない。												

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	07	生きがい感を高める	【施策】	2	社会参加を推進する								
【基本事務事業】	705	生きがい交流を支援する	担当課:	4834000									
【事務事業】	70504	障害者自立支援事業	健康福祉会館	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
				201	戦略区分								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
機能訓練や社会参加の促進を図る講座(創作活動、スポーツレクリエーションなど)等様々な機会を提供し、家庭に閉じこもらず、地域社会へ参加できるようにする。	参加人数(人)	参加人数(地域交流研修会+ふれあい教室+スポーツ大会+研修+中途視覚障害者自立支援)理由:各事業に参加することによって、生きがいを発見できる機会も増え、社会参加状況も把握できるため。状況:参加者は年々増加している。	6802	6950	6950	6950	6950	計画額	14,131	13,101	14,299	12,898	2,779
			6802	6906	7087	5160	1740	(一般財源)	14,131	13,101	14,299	12,770	2,612
								予算額	14,131	13,101	12,898	7,754	3,533
								(一般財源)	14,131	13,101	12,770	7,587	3,366
								決算額	13,049	12,721	12,715	7,450	3,218
	()		0	0	0	0	0	職員数	4.16	4.16	4.16	3.48	2.98
			0	0	0	0	0	単位) 事業費:千円 職員数:人					
【対象】			0	0	0	0	0	【業務】	障害者福祉センター地域交流研修会 障害者福祉センターデイサービス業務 障害者スポーツ大会参加業務 中途視覚障害者日常生活支援業務 障害者研修関係業務				
障害者	()		0	0	0	0	0	【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					
			0	0	0	0	0	【定量分析】:課題・現状分析 障害者自立支援法(平成18年10月1日施行)に伴い、ふれあい教室の半数以上が他の事業に移行したため、施行後の実績値が目標値より大幅に下がっている。					
			0	0	0	0	0	【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性 事業の拡大は難しいので、残った事業の内容を検討し、参加人数の増加を試みる必要がある。					

【政策】	07	生きがい感を高める	【施策】	2	社会参加を推進する								
【基本事務事業】	705	生きがい交流を支援する	担当課:	4821000									
【事務事業】	70505	総合福祉会館管理運営事業	高齢福祉課	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
				201	戦略区分								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
交流の機会を確保し、社会参加を推進する。	利用者数(人)	利用者数	150300	150600	150900	160000	160200	計画額	68,799	64,972	69,077	63,597	65,197
			150484	151687	151687	181402	176194	(一般財源)	65,022	61,975	65,300	60,482	62,315
								予算額	68,799	64,972	63,597	65,197	66,683
								(一般財源)	65,022	61,975	60,482	62,315	66,683
								決算額	62,693	62,625	62,771	63,130	62,286
	()		0	0	0	0	0	職員数	2.5	2.5	3	3	3
			0	0	0	0	0	単位) 事業費:千円 職員数:人					
【対象】			0	0	0	0	0	【業務】	施設維持管理業務 施設整備業務				
市民	()		0	0	0	0	0	【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					
			0	0	0	0	0	【定量分析】:課題・現状分析 施設の老朽化により利用者の満足度が低下しており、利用者数もここ数年横ばい傾向であることから、現予算の中で、効率的に施設改修し、複合施設として利用者増を図る。					
			0	0	0	0	0	【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性 良好な維持管理が施設の老朽化により、難しくなりつつある、市民の満足度は低下しているので、施設整備を行い、満足度をたかめる必要がある。					